

タウンワーク
TOWNWORK
Presents



キャンパスライフ・プラスワン Campus Life+1 グランプリ 夢実現レポート

← 完結編

全国の大学・短大・専門学校に通う学生の夢を応援する「Campus Life+1」。約2000名の応募の中から見事グランプリを受賞した筑波大学大学院鈴木裕行くんが、現在、仲間と取り組んでいることなど、夢に向かって動き始めた様子取材してきました。

グランプリ受賞 鈴木裕行くんの夢

「宇宙」で多くの人を笑顔に幸せにしたい!

「Campus Life+1」とは…
全国の大学・短大・専門学校に通う学生の皆さんから、在学中に叶えたい夢を募集。グランプリ受賞者には夢を叶える資金として上限100万円をプレゼント。



① 世代を超えて多くの方がイベントに参加。七夕の短冊やプラネタリウムなどの催し物を実施した。

② 鈴木くんのイベントに賛同して集まった仲間たち。当日は看護師さんもイベントを手伝ってくれた。



鈴木裕行くん
筑波大学大学院博士後期課程1年
計算機シミュレーションを用いて
主に銀河の起源について研究中。

100万円の使い道…

キャンパスライフ・プラスワンのグランプリ受賞で手に入れた賞金を使い、大型の天体望遠鏡2つを購入。まずは、病院で先生や看護師の方々に対して観望会を実施しようと考えているのだとか。



イベントを終えて…

多くの方に来ていただき、本当にうれしかったです。イベント自体は手ごたえを感じましたが、まだまだスタートラインに立ったばかり。この活動をもっと広げていき、多くの人を笑顔にしたいです。

宇宙旅行の疑似体験で ダイナミックな宇宙の世界に

今回のイベントを開催する上で、鈴木くんには一つの想いがあった。「普段、夜空を見る機会の少ない入院患者の方々に、宇宙の持つ魅力を感じていただいて、元気になっていただきたい」と思い、このボランティアイベントを企画しました。「念願の夢を叶えるためにも、協力してくれる仲間が必要不可欠であった。「大学の授業でイベントの告知をして仲間の募集をしたり、友人を通じて、天文に興味のある学生のほか、看護に興味のある学生にも声をかけました」。こうして12名もの仲間が集まった。

当日、鈴木くんは四次元宇宙ビューワを使い、参加者の方々に「宇宙旅行」を疑似体験してもらおうプログラムを担当。宇宙にある星の数について質問を投げかけるなど、積極的に交流を図り、宇宙に興味を持ってもらえるよう努めていた。そんな鈴木くんの思いが伝わったのか、参加者の方々も笑顔で質問に答えていた。イベントは大盛況のうちに終了。多くの参加者の方々が、「宇宙」に触れることで、自然と笑顔になっていた。その姿を見た鈴木くんは「イベントを開催してよかったです」と話してくれた。

主催: **ENTAC!**
enjoy talking campus

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク!」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

第2回Campus Life+1では皆さんの夢を募集中!

エンタク

検索

<http://entac.jp/>

RECRUIT